



# SOGI(性的指向・性自認)の多様性と大学

～何をどのように取り組むべきか?～

2019年 1月7日(月) 10:40-12:40

大阪府立大学中百舌鳥キャンパス：学術交流会館(C1棟) 多目的ホール  
 大阪府立大学羽曳野キャンパス：L-305教室（※遠隔中継）＜本学教職員と学生のみ可＞  
 大阪府立大学りんくうキャンパス：A-103会議室（※遠隔中継）＜本学教職員と学生のみ可＞  
 大阪府立大学工業高等専門学校：会議室1（※遠隔中継）＜高専の教職員のみ可＞  
 対 象：一般公開（特に学生対応に関わる大学の教職員）  
 参加費：無料 申込み：不要（先着200名）《部分参加も歓迎します》  
 ※情報保障等、何らかの配慮が必要な方は12月17日(月)までに下記問合せ先までご連絡ください。  
 期日を過ぎてご連絡いただいた場合、ご希望に添えないことがございますので、予めご了承ください。  
 ※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

## 1. 講演 10:45～11:45

### 一橋大学「アウトティング裁判」大学はどうすべきだったのか？

南 和行 氏 (なんもり法律事務所 弁護士)

2009年に弁護士登録、同性カップル弁護士の法律事務所「なんもり法律事務所」を開設。一般民  
 事ほか性的マイノリティの差別の案件、戸籍の性別の案件、無戸籍の案件などにも積極的に取り組ん  
 でいる。「一橋大学アウトティング裁判」「コナミスポーツ裁判」の原告側弁護人を務める。



### 女子大学におけるトランスジェンダー学生の受け入れについて

三浦 徹 氏 (お茶の水女子大学 理事・副学長)

お茶の水女子大学では、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する人（戸籍上男性で  
 あっても性自認が女性であるトランスジェンダー学生）を受入れることを決定した。その意義と共に  
 学内での合意形成と障壁、他女子大への波及の動きを紹介する。専門はイスラム史・中東地域研究。



### 「男女共同参画」からダイバーシティへ -大阪府立大学の取組から

田間 泰子 氏 (大阪府立大学 教授)

本学における「SOGIの多様性と学生生活に関わるガイドライン」制定の中心的役割を担う。人間社  
 会システム科学研究科/教育福祉学類教員。女性学研究センター主任を経て、2010年度に女性  
 研究者支援事業を立ち上げ、6年間実施責任者を務める。専門は家族社会学・ジェンダー論。



## 2. 報告 11:45～12:00

### 学生団体「フダイバーシティプロジェクト」の取り組みについて

小林 龍之介さん (教育福祉学類1回生) 浦出 夏帆さん (教育福祉学類3回生)

## 3. パネルディスカッション 12:00～12:35

テーマ「大学は何をどのように取り組むべきか？」 モデレーター：榎井 克明 (学生課長)

南 和行氏、三浦 徹氏、田間 泰子氏、  
 花岡 奈央さん(フダイバーシティプロジェクト・環境システム学類3回生)

主催：大阪府立大学学生センター  
 共催：人権・ハラスメント委員会、女性研究者支援室  
 後援：人間社会システム科学研究科女性学研究センター、フダイバーシティプロジェクト  
 お問合せ：大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス  
 学生課 学生サポートグループ TEL：072-254-8390 (内2169)  
 アクセスセンター E-mail：opuac@ao.osakafu-u.ac.jp